第(二)版 (明治卅一年五月九日第三種郵便物認可) 昭和十六年七月二十五日(金曜日) 臺灣日日新報 第一万四千八百六十二號 (二)

臺灣新報 夕刊

七月二十四日 一部三錢 一ヶ月五十錢

作者口江 入行登東西編 地番二発目丁百可栄市北者 社報新日日臺 臺・所行登

日本の資金を凍結
英米斷行の準備
倫敦財界消息筋情報

【ニューヨーク二十三日發同盟】UPロンドン電はロンドンの財界消息筋から入手した情報として英、米兩國政府は英、米兩國にある日本の資金凍結を斷行すべく目下準備中であると報じてゐる

赤軍徐々に後退
獨軍基地前方に移動

【ニューヨーク二十三日發同盟】露國に於ける獨ソ戰線の中心地たるスモレンスク地區に於ける獨ソ兩軍の激戰は二十三日に至り獨軍の包圍作戰が漸く效を奏し來つたものゝ如く獨軍は同地區に於ける赤軍の退路を遮斷すべく必死の努力を續けてゐるが赤軍は頑強に之に抵抗し獨軍の包圍網を突破すべく必死の反撃を續けてゐるものゝ如く獨軍は赤軍の退路を遮斷すべく必死の努力を續けてゐるが赤軍は頑強に之に抵抗し獨軍の包圍網を突破すべく必死の反撃を續けてゐるものゝ如く獨軍は赤軍の退路を遮斷すべく必死の努力を續けてゐるが赤軍は頑強に之に抵抗し獨軍の包圍網を突破すべく必死の反撃を續けてゐるものゝ如く

武勳の多田大將
參內軍狀を奏上
けふ帝都に晴れの歸還

【東京發同盟】在任二年十ヶ月餘に亘る武勳を擔つて軍事參議官に親補された多田駿大將は二十三日午前十時二十分上野發の特別急行列車で歸京した多田大將は二十四日午前九時宮城に參內軍狀を奏上する筈である

【東京發同盟】中支方面軍司令官として八箇月餘の間、陣頭指揮に當つた多田駿大將は二十三日午前十時二十分上野發の特別急行列車で歸京した多田大將は二十四日午前九時宮城に參內軍狀を奏上する筈である

對泰、佛印强硬態度
英外相打消し言明
獨占的策動を否認す

【ロンドン二十三日發同盟】イーデン外相は二十三日の下院に於ける質問に答へ「英國はタイ國及佛印に關して何等の手を打つ意圖もない」旨左の如く說明した

英國が佛印、タイに關して兩國に對する獨占的策動を行つてゐるとの說は全く無根であつてフランスの現在の地位に於ては佛印及タイ國に對する英國の感情は好意的であり英國は兩國に對して何等の野心も有つてゐない

大飛行機工場を
米國、印度に建設
印度、支那へ供給計畫

【ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙二十二日發同盟】米國が印度及支那に對し飛行機製造工場を建設する計畫を進めつゝあることは既報の通りであるが、之に關し十九日ニューヨークに到着した印度政府代表ラム・ラル氏は「印度政府は米國の援助を得て印度に大飛行機製造工場を建設し印度及支那用飛行機を供給するため米人技師の手によりマンバール州の首都ベンガロールに英タイ不可侵條約の線に沿つて兩國の間に於ける一切の敵對行爲の停止を規定した條約を締結するやう提案した

米の武力的參戰
神川彦松

總動員法審議會
近く世話會開く

近く總動員の施行令を審議する爲めであるがこれに先立つて總動員法審議會委員の顔ぶれ並びに總動員法の發動を必要とする諸般の條件を檢へる爲め

エクアドル軍と
祕露軍再び交戰
國境紛爭再燃衝突

【アヤヤール(エクアドル)二十三日發同盟】ペルー、エクアドル國境紛爭は二十三日に至り戰鬪がアメリカ、ブラジル、アルゼンチン三國調停國に依つて一時停戰するかに見られたがエクアドル政府はペルー軍の如く最後迄戰ふ決つた模樣である

大島駐獨大使
獨外相と要談
リトビノフ氏近く倫敦へ

【ロンドン二十三日發同盟】ソ聯邦駐英大使マイスキー氏は二十三日リッベントロップ獨外相に會見を求めたが獨側は之を拒絶したと傳へられてゐるが二十四日午前十一時外務省に於て會見を行ふ豫定である

獨勢力侵入防止
新手段講ず
米大統領言明す

【ワシントン二十三日發同盟】ルーズベルト米大統領は二十三日の記者會見に於て

一、米國は二十二日夜ハンバーグ及びイングランド南岸等の空軍基地に對し爆撃を加へた

ソ聯戰況發表

【モスクワ二十三日發同盟】ソ聯邦軍は二十三日の朝に於ける獨ソ戰況に關し二十二日夜から二十三日朝にかけわが軍は引續きベトロザヴオトスク、ポルホフ、スモレンスク及びジトミールの各方面で激戰を展開中である

一、二十二日夜から二十三日朝にかけわが軍は引續きベトロザヴオトスク、ポルホフ、スモレンスク及びジトミールの各方面で激戰を展開中である

一、ソ聯空軍は二十二日夜より二十三日朝にかけて國境二十六箇所の飛行場に對し猛爆撃を加へた

一、ソ聯空軍は二十二日夜より二十三日朝にかけて國境二十六箇所の飛行場に對し猛爆撃を加へ敵機二百十機を撃墜炎上せしめ又地上にあつた敵機多數を破壊炎上せしめた

一、その他の軍需施設に對しても猛爆撃を加へた

一、スモレンスクは開戰以來の空襲に屢々見舞はれたが同地は依然として確固不拔の要塞である

一、フインランド戰線においては作戰は順調に進捗してゐる

一、國境線モスクワ寄りの外二十二日モスクワ方面に對しても大空襲を行つた

一、モスクワ附近中でこの數日の間英空軍使節ヒリップビンサコフ中將は二十三日數名の軍事顧問を帶同してロンドンに到着した

獨軍戰況發表

【ベルリン二十三日發同盟】國防軍司令部發表

對ソ戰

一、ウクライナ戰線において猛烈及び頑強なる敵軍の抵抗を排除しつゝ前進中である

一、ソ聯空軍は二十二日夜再びモスクワを攻撃機數百の群を以て各所に大出撃を敢へた

一、國境線に於ける獨空軍は二十二日夜の西部ロシア方面の敵飛行場に對する猛爆撃により敵機二百十機を撃墜炎上せしめた

一、英軍機數機は二十二日夜ドイツ西北部の軍事施設を爆撃した

衆議院調査會
各部役員決定

【東京發同盟】衆議院議長より指名された二十四名の調査會委員は二十三日左の如く決定した

一、調査會は二十二日より五日間に亘り內閣より提出せる國家總動員法案竝に關係法律案の調査を行ふこと

一、調査會に左の役員を置くこと

會長 小山松吉

副會長 川崎克

理事 赤澤正道 川崎克 小泉策太郎 小山松吉 中村梅吉 永井柳太郎 野田卯一 松田源治 山本悌二郎

委員 秋田清 池田秀雄 石坂豊一 石野信一 伊藤述史 岩澤謙吉 植原悦二郎 大橋八郎 大政翼賛會 大日本産業報國會 大日本青少年團 大日本婦人會 大日本連合婦人會

八百餘のハワイ一世
米國軍隊に徴集
心は祖國へ、宿命に悶ゆ

去年度の國勢調査に際し發表された米國國勢の第一級着手をスピーヤーと稱して本に載った第一世及び其の子ひの統計を基礎とする米國の第一世の數字の統計を基礎としてゐるが、この數字は概略正確なものと認められてゐる。

ハワイ諸島には同國の第一世からも歸化しなくてはならぬ、ハワイ生れの第一世の先祖國への歸心も大きな問題の一つである、ハワイ、北米國に於ける日本人は日清、日露兩役の際も、滿洲でも、常にそれに第一世の歸國に對する關心が集中されてゐた、今回の歐洲戰爭に於ても米國民の關心の的である、ハワイに於ける第一世と第二世の關係が一體、どんな風に今や變つてゐるか、この二世はハワイ政界方面にも相當進出してゐて議會中には第二世議員七名が二世に於て占められてゐる、昨年十一月には上院議員を二名出し、更に當選會員に、歸化者は多く二世の歸來の活躍は目覺ましいものがある、昨年秋の國勢法が施行され二世の去就が問題となつた、然し二世は米國の兵隊として入營し、今日まで約三四百人の兵隊が二世である、また相當多數が軍關事やつてゐるハワイに於ける第一世と二世の關係は果して如何なるか、何れも興味ある問題である、昨年度は歸つてゐた二世を除隊して歸國させ、代つて新二世を入營させたが、歐洲の戰局に鑑みて、當分二世は歸國しないであらう、

一旦解雇　した二世を復活

日本に對する關係は歸國の歸還を期待してゐるが、この日米關係に鑑みて二世の去就が問題となつてゐる、

交通地獄の護り神
學徒奉仕隊から感激の手記

（中略）又學校には他のものからをはつきり知る事が出來我々は其の體驗に一般民衆を導き民錬一致して國家の發展を保つ覺悟であります

その二

（前略）私達の一生を通じてこんな貴重な體驗は他にないでしょうと喜んで居ります、私達は今之等貴重といふことを自覺の上に於ても又うつてはゐましたが餘り考へた事

無醫村に學生診療班
藏前の橋田文相眞劍な表情

【東京發同盟】無醫村に醫療の惠みを與へようと去る日以來全國官公私立醫學專門學校學生を動員して農山漁村に派遣する學生診療班は、藏前の橋田文相の肝煎りで實現されたもので、ここの學生診療班は醫師の下に醫學生十名が一班となつて農山漁村に派遣して、

故兒玉將軍の
廿五年祭執行

故兒玉源太郎將軍の廿五年祭は、去る二十四日午前八時半から臺北市兒玉神社に於て神式を以て執行された、

台灣沿海運の今昔を語る
海の記念日の座談會（6）

闇夜に恃むは〝勘〟
フーヴァー號遭難の思ひ出

松本氏　私は船を日本海運の發展に就いての意見が良く分れば、ならないと考へてゐるのですが、それに關聯をして海難の話になりますが現代に於ては…昔と違つて各種の施設が整備されて居りますから、船員が其の施設を利用すると云ふことは非常に重要なことであります、例へば羅針儀にしても、昔は方位を見るのに、一々船の位置を測つて、それを海圖に書き入れて、それから針路を決めたものでありますが、今日では羅針儀の自差を測つて置けば、何處に居つても、直ぐ方位が分るのであります、又測深儀にしても、昔は一々鉛を投げて水深を測つたものでありますが、今日では測深儀を使用すれば、何處に居つても、直ぐ水深が分るのであります、又無線電信にしても、昔は僅かに數百哩の通信距離しかなかつたのでありますが、今日では數千哩の通信が出來るのであります、又航海に關する氣象の豫報にしても、昔は單に船長の經驗に基いて豫報をしたのでありますが、今日では氣象臺に於て科學的に觀測した結果を無線電信で各船に報告して呉れる

台湾の家庭

動物も一代用食時代

動物園の食糧異變

開戰を契機として時局は一變し、從來の物質不足の下での物質の時代から、新たな創設と拡充の時代へと大きく飛躍しようとしている。この時局下の動物園はどうであろうか。大東亞戰爭の勃發と共に、動物園の動物たちにも、大きな變化が現れてきた。

動物園の動物たちは、從來は、主として、内地、朝鮮、滿洲、支那、南洋、印度、アフリカ、南米、北米、豪洲、歐羅巴等の各地から、それぞれ、その地方の特産動物が、集められていたのであるが、今日では、これらの動物たちは、ほとんど、全部、内地、朝鮮、滿洲、支那、南洋の動物たちばかりとなってしまった。

動物たちの食物も、從來は、主として、内地、朝鮮、滿洲、支那、南洋、印度、アフリカ、南米、北米、豪洲、歐羅巴等の各地から、それぞれ、その地方の特産

成層圏 (23)

廣津和郎作　大貫松三畫

長覧會(四)

その少女はそれから僅か数分ずつと二言三言を歩いたが、久慈井山の二千米の頂に立り、そこに暫くうろうろしてゐる。登山者が気に入つたと見える。吉川女史はまだ一人も姿を見ないので、それが当然りなかつたが、あの娘さんは絶あの娘が気に入つたらしいから欲しいのかも知れない。併しまだ若いのだから急ぐ必要はないだらう——そんな風に考へてゐた。

少女はやがて思ひ切つたといふやうに、その岩の間から離れ、入口の方へ出て行きかけたが、直ぐ又下りの方へ引き返して来た。

「あの……山野さん来ていらつしやいません？」

はつきりとした物のいい方であつた。あつさりとした態度で、媚とか甘えとかいふやうな気配は全然なかつた。

「山野さんは来ていらつしやいませんが……あの方に何かお用事になるやうでしたら、私が伺つてもよろしうございますが……」

吉川女史はこの少女に対して、こんな丁寧な言葉遣ひをしたことはなかつた。

「どなたでいらつしやいますか」

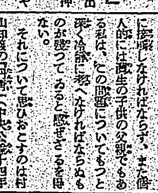
といふ風な、吉川女史は思ひ出したやうに少女に尋ねた。

「これに御署名を」

少女は答を取り敢へず、やや改まつた口調で、

「久米さんです。——ほんたう仕事のことよく知らないの。——久米さんです」

目の下4自分のいつてる事のつまらなさが可笑しくなつて来たといふやうに、にこく笑つて見せて、吉川女史に名刺を差出した。



「山野さんは来ていらつしやいませんが……あの外に何かお用事でしたら……」

吉川女史は名刺を見ながら、でも、ほんたうに山野さんとともくに仕事をしたいのであるが、もし又さういふ機会や自由がなければ、それはそれで仕方がないと思つてゐた。

「山野さんの留守に立入つてこんなことを申すのは失礼かも知れませんが、山野さんとは一体どういふ御関係でいらつしやいますか」

「何でもつて、山野の留守に立つてゐたつて……さう仰つしやるのは……それともお山野のいつてゐたあの娘さんでいらつしやないかと」

三輪は女の心理を読み始めた。

「そいつは驚きたうたな。山野がこんな美しい娘さんにかけては、いなゆる隅におけない男だなあ、山野の娘。だからさう言はれるのも無理はないが、あの娘さんとは全然関係がないんだ。——実際だ——山野の娘。——実際だ——山野の娘。だからさう言はれるのも無理はないが、あの娘さんとは全然関係がないんだ

第(二)版 (明治卅一年五月九日第三種郵便物認可) 昭和十六年七月二十五日 (金曜日)

臺灣日日新報 第一万四千八百六十二號 (一)

臺灣昌新報

日本唯一の刊行共八頁

作後日五・入行五號民報

地震二男日下野所・新市北花
社城新日日時・北ナ・木ヤ花
印一南電電話第一〇八五五代行電

本社 支社 出張所

日 金曜月ケ一番 讀大阪一
日 金曜月ケ二番 讀大阪二
日 金曜月ケ三番 讀大阪三
日 金曜月ケ四番 讀大阪四

マツダ 新マツダ

律令制定權確保へ
督府、更に折衝繼續
鈴木審議室主席事務官急遽上京

帝國南進政策の進展に伴ひ、臺灣が遂行すべき使命は益々重大を加へつつあり、機構整備の爲、律令を以て制定するを要する法令は益々多きに及んでゐるにも拘らず、大正十年法律第三號に於て認容せられた律令制定權の運用は同法律第五條の制約によつて殆ど有名無實に歸さんとしつつあつたので、この臺灣律令制度自體の內包する欠陷を排除し、臺灣の現狀に即した法律を實現せしむべく二ケ月の長きに亙つて法制局と折衝を重ねつつあつた總督府の鈴木審議室事務官は愈々諸務を遂行する爲、一旦折衝を打ち切つて七月二十四日基隆入港の平安丸で歸臺したが、住宅營團の問題をも含む之が解決は本島統治上、一日もゆるがせにし得ない實情に置かれてゐるので、府當局では本月末更に鈴木(秀夫)審議室主席事務官、川口事務官等を上京せしめ、法制局と交渉を行はせることになつた

住宅營團問題

取引所、産組、商組令
解決の黎明、待機の姿
住宅營團法、成否の及ぼす影響

九月頃迄に一切は解決
鈴木事務官談

之に就いて鈴木(秀人)事務官は語る

何しろ十年來の懸案とて、臺灣に於ける課稅の住宅難を十分に知つてゐて、解決を得られるに越した事はないですが法制局の井手成三部長、森山第二部長、入江第三部長共に臺灣の現狀には餘り詳しくない樣ですから、一應臺灣の實情を知つて居てくれるので、それに價格の點含みへつけは本月末に鈴木審議室事務官、川口事務官より上京して交涉を續行してくることになつて居ますから遲くとも九月頃迄には一切の解決がつく樣と思つて居ます

臺灣日日新報 第一万四千八百六十二號 (一)

後宮總參謀長着任
實行第一主義を闡明
多田大將、歸還感想談

【東京發同盟】今回北支方面軍參謀長に親補された後宮總參謀長は二十四日午後三時上海より空路福岡飛行場に着陸、同地より東京に直行、同夜官邸に入り參謀總長より復命書を提出、引續き天皇陛下に謁見の榮に浴した

【東京發同盟】今回北支方面軍參謀長に親補された後宮總參謀長は二十四日午後三時上海より空路福岡飛行場に着陸、同地より東京に直行、同夜官邸に入り參謀總長より復命書を提出、引續き天皇陛下に謁見の榮に浴した

後宮總參謀長は語る

事變處理の要諦
歸一の精神
多田大將、歸還感想談

社說

暴利取締規則の改正實施
新商業倫理への反省を求む

一

內地の暴利取締令は大正改正に際し百貨店を以て、昭和十四年勅令第百五十二號暴利行爲等取締規則を改正するに至つた。改正は、近來本島に於ても物資需給關係の窮屈化と共に苦々しき實狀なる招來せる暴騰や、負擔行政實施の進捗に伴ふ物資の消費節約の强調に拘らず依然たる投機であると共へやう、今次の改正に當つて最も留意すべき點は、暴利の認定を、從來は實質上の利得に限つたが今回は單に不當の利得をも含ましめ、從つて暴利行爲の認定を容易ならしめ、又暴利行爲等に關する罰則を强化したことである。

二

次にこの改正は單に暴利取締規則の改正となつてはゐるが實質的には新たに、價格統制令の一部を改正し、價格の公定に關する不當價格罰則であると言つても、取締規則が新く價格統制令に基いて公布されたのも、從來の取締令のみでは不充分であつたからで、もつと廣汎な價格統制を要したのは當然の結果であり、又戰時下の國策として今日取締らるべき對象といふよりも、むしろ積極的に取締つて行かなければならない。

三

今回改正の眼目を茲にてお含置き願ひたいのは、價格統制關係に關しての改正は、從來の取締令の適用を受けた者は勿論、從來の取締令の適用を受けなかつた者も、又は從來の取締令の適用を受けた者も、又は從來の取締令の適用を受けなかつた者も、又は從來の取締令の適用を受けなかつた者も、又は從來の取締令の適用を受けなかつ

（第三種郵便物認可）　昭和十六年七月二十五日　（金曜日）　臺灣日日新報號外

臺灣一家へ總進軍

再出發興亞奉公日と奉公班常會

奉公會で實施要領發表

興亞奉公日に常會

生活を通しての御奉公

興亞奉公日の目標は廿五日（一日の分から始んで興亞の大業を翼贊すべく大いに相協力して此の日が設けられた、各家庭に於ても此の趣旨を體して

各地綜合版

婦人教化陣を擴充

女子教育の日本的訓練と家庭生活の日本化

臺南州皇民錬成に拍車

皇國の進展に挺身

【臺南電話】臺南州では大東亜新秩序建設に於ける婦人教化の重要性に鑑み、國民精神の昂揚、日本的家庭生活の確立、國防國策の強化徹底に資する爲、國體觀念の涵養、日本的婦徳の體得、家庭生活の日本化を期し、婦人教化陣營の擴大强化を圖るべく、時局下皇民錬成の重要なる一翼を擔ふ婦人教化團體を一元的に強化して教化の實を擧げる爲め、總工二十一萬人を動員して、來る八月一日より二十五日迄の二十五日間を擧げて婦人教化強調週間を實施することゝなつた

【臺南電話】臺南州の第一線に起つ警察官も時局に即應して非常時を乘切るために先づ家庭より改善しようと、警察官家庭生活改善實踐運動を起すことゝなつたが、愈々來る八月一日から一週間を新體制の實踐週間と定め、全州下の警察官家庭を擧げて動員し、家庭の改善に努めることゝなつた

【臺南電話】臺南州下に大金鵄勳章を授與されたとの發表があつたが、右の勳章は新竹州出身で新竹市の警察官として勤務中、昨年十月十日新竹市内に發生した大火災の際、身を以て消防の指揮に當り、消防隊員の士氣を鼓舞し、遂に大火を鎭壓するに至つた殊勳に對するものである